



市保連 だより

2010
(8月)

[第399号]

平成22年8月1日発行
社団法人 熊本市保育園連盟
広報委員会
発行責任者 重岡 啓一
〒860-0806 熊本市花畑町3-1
熊本市花畑別館3F
TEL (096) 322-0096
委員長 清永 ヤヨヒ
委員 鬼塚 静波
委員 建川 美逸
委員 村上 恵逸
委員 平川 裕季子
委員 伊形 けい子
委員 石井 福奈郎
委員 石角 奈二郎



理事会

楽しく食べて、心も身体も健康な子どもに

熊本市保育園連盟 調理師会会長 福島由起

平成21年度・22年度の調理師会会長を務めさせていただきます。福島です。

今年度、植木町・城南町が新しく連盟の方に加入していただき、調理師会も新メンバーが増え活気ある22年度が4月にスタートしました。私自身調理師会会長として2年目に入り、少しずつ会長としての仕事が終わってきたところですが、改めて役の大きさを実感させられます。

平成21年度に新しい「保育所保育指針」が施行され、今回の指針や要領には、「食育」の重要性が大きく示され私自身どのような姿勢で取り組んでよいか頭を悩ませました。ある本の一節に一番大切なのは、子どもが「食べることは楽しい！」と感じる事ですと書かれていました。食育の目標として、

- ①お腹がすくりズムのもてる子ども
- ②食べたいもの、好きなものが増える子ども
- ③一緒に食べたい人がいる子ども
- ④食事づくり準備にかかわる子ども
- ⑤食べ物を話題にする子ども

この子ども像を目標に少しでも近づけて行けたらと思います。昨年のわんぱくまつりの食育パネルでもわかるように食育に対しての各園での取り組みがすばらしく、食の体験を子どもたちのために日々努力されている事がすごく感じられました。

調理師会でも「楽しく食べる子どもに」という全体テーマのもと調理師会役員の先生方と講演の内容について検討し、会場設定・資料の準備を行い、年に全体研修会を3回またブロック

研修会を3～4回行っていきます。食育の目標を達成するために、食育に関する共通した認識のもと研修等を通して専門性を高め子どもがどのような育ちをするか考え学びあいたいと思います。



また、会長の業務として、年に2回程、熊本市食の安全安心・食育推進会議に参加しています。市民の食に携わる多方面の関係団体と連携を図る行政とが一緒になり、「食の安全確保」並びに「食育推進」に取り組まれています。これだけの各団体・行政が食育に力を注いでいられる事で、この会議に参加し改めて食の重要性を強く感じました。しかし現実として、保育所への補助金も削減され、保育園給食も民間委託方式や外部搬入方式へと導入する動きもあり、この現状に矛盾を感じさせられます。このような時こそ、子どもの事を一番に考え、保育士・栄養士・調理師と専門性は違ってもお互い歩みより一丸となり「食べる事は楽しい！」と思える食育活動を展開し、食を通してより良い人間形成が出来るよう日々努力してまいりたいと思います。

今後も役員と共に力を合わせ頑張ってください。よろしくお願いします。



保育士会

2年目を迎えた今

水前寺保育園 保育士 加藤 静佳

私は水前寺保育園に就職し、保育士になり2年目を迎えました。1年目は2歳児を受けもち、今年は子どもたちと一緒に進級して、3歳児を担当しています。2年目を迎えた今も子どもたちとの関わり方で悩むことがあります。しかし、子どもたちの笑顔、元気いっぱいに遊ぶ姿、喜ぶ姿を見ると元気の源になります。もっと子どもたちの喜ぶ顔が見たい、そう思う毎日を過ごしています。1年目は保育園という環境を知り、また仕事を覚えることに必死でした。しかし、保育士になりすぐに感じたことがあります。それは母と子の絆、誰にも変えられない存在ということを改めて感じる事が出来ました。母親の子どもを見るとき笑顔、母親がお迎えに来たときの子どもの幸せそうな満面の笑みを見て母と子の関係という大切さを知ることができ、かけがえのない大切な子どもをしっかりと守って

いかなければならないという気持ちになりました。

2年目の今、子どもたちに寄り添いながら、子どもの成長をそばで見守り子どもと一緒に喜びや楽しさを感じていきたいと思っています。まだ未熟で学ぶこと、素晴らしい先輩保育士の方々から吸収していくことはたくさんあります。今年度は第三者評価を受けることになり、保育の質を高めることが出来るいい機会です。自分自身これをきっかけにさらなる保育士としてのレベルアップをしていきたいと感じています。そしてこの成長を通して子どもたちにとって光となる存在になりたいです。



調理師会

子ども達のためにできること

わらべ保育園 栄養士 木下 瑠美子

現在の日本では食に関して、朝食の欠食、栄養の偏り、日本食文化の喪失、生活習慣病の増加、子どもだけで食事をとる孤食化等の多くの問題を抱えています。この改善策として食育基本法が制定されて5年が経ち、最近では食育という言葉は当たり前のように聞かれるようになりました。

昨年度、食育推進ネットワークの地域の活動でアンケートを実施したところ、幼稚園と保育園では明らかに幼稚園児の方が家族と一緒に食事をしたり、食事のお手伝いをする頻度が多いという結果が出ていました。つまり、保育園児は親と接する時間が少なく、食を通じたコミュニケーション自体が少ないということになります。そこで私が保育所給食において大切にしたいのが

家庭的な雰囲気作りです。安心・安全で適温に提供される食事であるのはもちろんのこと、オムレツの時にはケチャップでアンパンマンを描いてあげ、調理師と愛情たっぷりの給食作りを心掛けており、普段の給食でははしの持ち方や行儀作法を保育士と一緒に教えています。また、食への意識を高めるために4月から年長児に延長保育の夕飯の野菜の皮むきをお手伝いしてもらっています。最初は慣れない手つきでヒヤヒヤする場面もみられましたが今ではみんな上手に出来るようになってきました。



まだまだ子ども達に教えることは沢山ありますが、まずは食の楽しさを伝えながら、今後も健全な食生活を目指して頑張りたいと思います。



園長会

遊びの中で

熊本夜間保育園 園長 原田 和美

日頃、あたりまえに私達が使っている言葉は、使い方ひとつでも信頼関係が崩れたり深まったりします。言葉は発達の状態を示すバロメーターにもなります。幼児期に「言葉が出ない、赤ちゃん言葉が抜けない、コミュニケーションが取れない」という悩みが多く聞かれます。子どもの言っている言葉がなかなか聞き取れず、反対に子ども達から教えられたりします。子ども達同士の日頃の生活の中で言葉だけでなく状況や感情を総合的に受け止め、十分理解している様です。

保育室の中では、子ども達が遊びの中でグループを作り、ルールを作り、ルールを認識した上でより遊びが広がり面白みが増している様です。ただのブランコ遊びでも順番を待つというルールを学ぶことで社会性が生まれ、砂遊びで

も道具の貸し借りで思いやりが育ち、お散歩で道端の草花に興味を持つことから自然との触れ合いがより密となってきます。保育において「学ぶ」ための「遊び」も必要となり、ただの遊びでは豊かさは得られません。「楽しかったり、癒されたり、腹がたったり」と色んな遊びに展開して欲しいものです。保育士が子ども達を指図して「遊ばせる」。ついつい私達が余計な「計らい」が生じ「遊び」を支配していないか考えさせられます。子ども達にとって計算ずくの遊びは魅力はなく、身体的知的発達の結果ばかり追い求めるのではなく、色んな遊びを遊び切って欲しいものです。



8月の予定

会合	担当年齢	日	時間	会場	研修内容
年齢別研修会	0、1歳児	20(金)	14:00 ~17:00	国際交流会館	「グループ討議」 アドバイザー：あゆみ保育園主任保育士 田中 昭子氏 さくらんぼ保育園主任保育士 内村 いづ美氏
	2歳児	18(水)	14:00 ~17:00	国際交流会館	「グループ討議」 アドバイザー：ひまわり保育園副園長 大滝 喜和子氏
	3歳児	25(水)	14:00 ~17:00	国際交流会館	「グループ討議」 アドバイザー：川尻保育園園長 川口 延子氏
	4、5歳児	19(木)	14:00 ~17:00	国際交流会館	「グループ討議」 アドバイザー：こずえ保育園園長 福嶋 由美子氏
主任保育士研修会		25(水)	9:30 ~17:00	熊本県総合福祉センター 5F ホール	

火の国まつり おてもやん総おどり全体練習

- 日時：1回目 平成22年7月23日(金) 15:00~ 熊本市総合体育館 (中体育室)
- 2回目 平成22年8月4日(水) 15:00~ 熊本市総合体育館 (中体育室)

○ 持参するもの：上履き

☆総おどり参加者全員の出席をお願いします。

☆体育館は、駐車台数に限りがありますので、乗り合わせ又は公共交通機関のご利用にご協力下さい。



第33回 火の国まつり おてもやん総おどり開催

○ 日時：平成22年8月7日(土) 18:45 熊本市役所花畑別館裏集合

○ 服装及び用具：法被・白のTシャツ(丸首)・白の短パン・白のソックス
白のスニーカー・ポンポン(2個)・鳴子(先発隊のみ使用)

☆おどりの先発隊(今年度は南部ブロック)の服装は、以前の選抜隊の服装になります。

ご結婚おめでとうございます

- やまなみ保育園 5月21日 保育士 沢田 加奈子 (旧姓 日吉)
- やまなみ保育園 5月25日 保育士 住永 智沙 (旧姓 梅本)



園長会

地域にささえられて

和幸保育園 園長 吉岡 勲子

合併に伴い、22年度より「市保連」に加入致しました。和幸保育園です。よろしくお願い致します。

当園は、田原坂ニュータウン（約800戸）の住宅街とスイカ、メロン、豊富な野菜の生産地に隣接し、周囲はまだのどかな田園風景を残しています。散歩に出掛ければ、地域の方々に優しく声を掛けてもらい、温かいまなざしを受け、もぎたての野菜をおみやげに、大喜びで帰ってくる子どもたちです。

恵まれた環境の中で、5年ほど前から、みんなで野菜作りに取り組んでいます。地域の方の厚意で4000㎡の土地を借り、「ともだちひろば」、「わこうのうえん」を作り、広場では、思いっきりからだを動かし汗を流しています。

又、隣の畑では、日々成長する



沢山の野菜に目を輝かせ、何よりも収穫を楽しみにしている子どもたちです。畑を歩いていると、たどたどしい言葉で「せんせ〜いブロッコリーよ！」とホヤホヤの2才児さんが、小さな手を広げて大事そうに見せてくれます。至福のひとつときです。

子どもたちも保護者も、そして保育者にとっても厳しい時代を迎えています。目の前にいる一人ひとりの子どもたちの思いを見落とさない

よう、保護者の方々と共に「今を大切に」、そして「ありがとう」の心を忘れない子どもに育ててほしいと願いをこめて子どもたちを見つめています。

今日もお散歩から帰ってきた子どもたちの「ただいま〜！」の元気な声が聞こえてきました。



園長会

子どもは未来の宝

城南こぼと保育園 園長 佐田 富美子

3月23日の合併によって、熊本市保育園連盟に加盟させていただきました。数年ぶりに、おあい出来ました諸先生方に、歓迎いただきましたことにお礼を申し上げます。又よろしくお願い致します。

政権交代により、保育制度の改革が急加速し、幼保一体化の方針まで一気に進展し、本年度も不安なスタートになりました。子どもは未来を担う宝、保育関係者が一丸となり、立ちはだかる課題、問題に取り組んでいかなければならないと思います。

城南町の東南に位置する私の保育園では、行事以外の日は、日本太鼓の音がひびきます。3才児に始まり、4才児5才児と力強い音に、今日も元気にたたけるなど、耳をかたむけ一日の始まりです。

子どもは仕事をしながらというお話を聞いたことがあります。5年前より始めました野菜

づくりに園児のかげやいた目や手足の動きを見ると、まさにその通りだと思うことがあります。

商品と園で出来た野菜の食べくらべで、甘い、おいしい!!と言葉が自然に出ることに、職員一同やって良かったと思っています。

寒い日、暑い日、雨の日と、自然を相手に思うように作業ができず、残念な結果になったことも時々ありましたが負けずに進むことこそ目的への第一歩だと1人1人が思いを込めて取り組んでいます。

今年は落花生を植えています。根についた実をどのように言葉で表現するか楽しみにしています。

